



謹賀新年

写真提供 甲田町 秋岡好夫 会員

理事長 坪井 克己
 副理事長 実方 政義
 常務理事(事務局長) 金川 末夫
 理事 山口 康文
 三木 鐵也
 山岡 正子
 小川 忠昭
 沖田 一夫

行友 勉
 小積 讓
 藤原 憲司
 中川 隆士
 新田 琢磨
 児玉 征之助
 三戸 秀世
 渡邊 徹也
 川角 一郎
 兼近 浩三
 事務局職員一同

本年もよろしく
 お願い申し上げます



押し絵提供 甲田町 松永春枝 会員

年頭のご挨拶



理事長
坪井 克己

新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様には、お健やかに平成二十三年の新春をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。

さて、安芸高田市シルバー人材センターの設立経緯は、平成二年八月、吉田町高齢者能力活用協会として発足し、平成五年九月に高齢法に定められた社団法人としての認可を得、平成の大合併により、平成十六年三月一日に旧高田郡内六町の合併に伴い、旧六町に設立されていたセンター等が、平成十七年四月一日に統合し、六年が経過いたしました。

この間、シルバー人材センター事業の理念「自主・自立、共働・共助」のもと、健康で働く意欲のある高齢者の方々の就業により地域社会に多大な貢献を果して参りました。

新たな公益法人制度が、「公益

法人制度改革関連三法」に基づき、平成二十年十二月一日からスタートし、従来の社団法人は、法律により移行手続きを行うことが定められており、昨年十一月に「公益社団法人」への移行申請書類を広島県知事に提出し、四月一日の移行を目標に諸手続きを進めているところであります。

長びく景気の低迷により、受注件数、契約金額とも大幅に減少し、更に国の事業仕分けにおいて「シルバー人材センター援助事業」の評価結果に見られる様に、国からの補助金が大幅に縮減され、事業運営が極めて困難な状況となっております。このため経費の節減を徹底し、事務の効率化に努めると同時に、地域の皆さんが安心して暮らせる社会を実現する為に、事業運営の改革は重要な課題であり、会員・役員全員で知恵を出し合い共に所期の目的を果たさなくてはならないと考えています。

我々シルバー人材センター会員は、社会から支えられる高齢者ではなく、社会を支え地域の活性化の主役としてなくては成らない社会の担い手として期待

される会員で在りたいと願うものであります。

最後になりましたが、会員・役員員の皆様、関係者の皆様方のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶



安芸高田市長
浜田 一義

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

安芸高田市シルバー人材センターの会員・役員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素から、市政運営に

ご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、平成二十年秋以降の世界同時不況の影響等により、雇用情勢は依然として厳しく、高齢者の雇用環境をはじめ市民生活が不安な時代が続いております。こうした時代こそ、会員をはじめ役員員の皆様が一体となり、知恵と努力によりこの難関を乗り越えていただくことを期待いたしております。厳しい状況の中、市もできる限りの支援を行ってまいれる所存でございますので、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の基、生涯現役としてのご活躍をお祈りするものでございます。

さて、高齢化は益々進展し、平成二二年一〇月末の高齢化率を見ますと、安芸高田市においては33・7%となっております。

今後「人 輝く・安芸高田」を推進していくには、長年の経験、知識、技能をお持ちのシルバー世代の皆様のお力添えが必要不可欠であり、地域社会の重要な担い手として、シルバーパワーをいかに発揮していただくよう願っております。

年頭にあたり、安芸高田市シ

ルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸、ご活躍を祈念し、新年のごあいさつといたします。



年頭のご挨拶



安芸高田市議会議長
藤井 昌之

平成二十三年の年頭にあたり、安芸高田市議会を代表して、会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

我が国は少子化が進むとともに、本格的な高齢社会を迎えており、本市におきましても昨年十一月末の高齢化率は33・65%で、三人に一人が65歳以上となっております。

こうした中、本市の経済社会を維持していくには、高齢者の

方々が地域社会の支え手として、健康で生きがいを持って活躍していただくことが何より肝要であり、高齢者の多様な就業ニーズの受け皿としてシルバー人材センターの担う役割は、ますます重要なものになっております。シルバー人材センターにおかれましては、今後とも時代のニーズに対応し、地域に根ざした事業を展開していただくことを期待しております。

結びに、安芸高田市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



部会・委員会

◆総務部会

部会長 行友 勉

平成22年5月29日安芸高田市総合文化保健福祉施設（クリスタルアージュ）において、通常総会が開催されました。

今年度は、任期2年の役員改選の年で、役員（理事・監事）の選任議案が上程され原案どおり承認されました。

また、今後の安芸高田市シルバー人材センターを左右する、案件のシルバー人材センターの「公益社団法人」への移行についての議案が上程され「移行」することに承認されました。

総務部会におきましては、平成21年9月に立ち上げられた「公益社団法人への移行検討委員会」の構成員として、定款、諸規定の整備や申請のための準備を進めました。

平成22年11月10日の理事会において、移行認定申請書提出の承認が得られ申請手続きが完了し、現在、広島県公益認定等審議会の審査中であります。

会員の皆様ご承知のとおり、この度行われた国の行政刷新会

議の「再仕分け」による、シルバー事業に対する補助金の削減は、今後の運営に大きな負担を生ずる事にもなりかねません。

私達シルバー人材センターの目的は、「生きがいの充実、社会参加の推進を図ることにより、高齢者の能力を生かした、活力ある地域社会づくりに寄与すること」であります。

この度の「公益社団法人」への移行を機に、会員一同「自主・自立、共働・共助」の理念を忘れず、事業を推進して参りましょう。

◆事業部会

部会長 中川 隆士

昨年は事業部会の事業計画に基づき各事業に取り組み、皆様にご協力いただいたことを感謝申し上げます。

事業部会は、次のような取り組みを行ってまいりました。

1、事業部会会議

- (1) 5月12日 第1回会議
- (2) 6月7日 第2回会議
- (3) 9月8日 第3回会議
- (4) 12月17日 第4回会議

を開催し部会の活動方針を確認してまいりました。

2、入会説明会

毎月15日を入会説明の日と定めて、説明と勧誘を行い、12月現在24名の入会承認を得ました。しかし、今後益々の入会促進に努力が必要であります。会員の皆様のご協力をお願いします。

3、講習会の取り組み

4月13日 草刈講習会を向原町「ふるさと河原公園」で開催

6月7日 松のみどり摘み講習会を甲田町「甲立小学校」で開催

10月7日 秋の剪定講習会を甲田町「甲立小学校」でそれぞれ開催し、会員の安全と技能向上に努めました。

4、職群班正副班長会議

9月28日に、六地域剪定班正副班長会議に出席し、会員の就業における安全意識の向上と諸問題に対する意見交換を行い、安全第一を徹底し事故を起さないことの確認を行いました。

5、見積・請負契約の研鑽

受注で最も重要な見積・請負契約については会員の皆さんの努力と取り組みにより、

お客様の理解も得てきました。が、作業完了までの事務手続きについて理解を深め、適正な契約が持続できるよう研修や班長会議を通じ、見積がさらに浸透するよう努めます。

◆福祉部会

部長 山岡 正子

超高齢社会を支えるひとつとして、地域の軽易な手助けのため福祉家事援助サービス事業があります。

○家事援助：清掃、洗濯、買物、食事の支度

○介助：……身の回りの世話、介助

○子育て：……送迎、保育補助

このことに対応するため、女性会員の入会促進や高齢者向け料理講習会を年二回実施し、情報交換を行い、会員の資質向上を図ります。また寝具の衛生管理が困難な人（条件あり）を対象に寝具類乾燥消毒サービスを行っています。

社会の動向を見据え、景気に左右されない家事援助や子育て支援に力を入れるため、女性会員拡大を目的として、和洋服のリフォーム、パッチワーク等の

◆広報部会

部長 児玉 征之助

サークル活動を会員自身が自発的に進展できるよう図っていきます。さらに地域のニーズに対応できるシルバー人材センターとして啓発等も行っていきます。

「高齢者の豊かな経験と能力を生かします」というキャッチフレーズで会員募集を行ってきた安芸高田市シルバー人材センターにおいて、広報部会はいろいろな情報を会員の皆様にお伝えしてきました。

今回第十一号を発行した『会報シルバー安芸高田』と現在第七号まで発行しているミニ会報『シルバー安芸高田』の発行を通して、より役立つ内容をお伝えするために、部会員一同努力していきたいと思えます。

特に公益社団法人への移行の年である本年度は、新しい組織体制を皆様に伝えるためのお手伝いができれば良いと思います。そしてみなさんのより身近な会報にするため、ご投稿をよろしくお願いします。

◆安全・適正就業委員会

委員長 沖田 一夫

近年、高齢化率の進む中、シルバー人材センター会員は「自主・自立、共働・共助」の精神に基づき、働いています。安全就業を第一と提唱してまいりました。

昨年は、重篤事故は無かったものの草刈作業中飛石し、自動車の窓ガラスの損傷及びドア部の傷、就業中に犬に噛まれる等の事故が発生しました。

今年は、就業事故の皆無をめざし、会員の皆様に安全パトロールや班長会議等を通じ安全就業の指導・講習会等を行い法令遵守で会員一人一人が安全で楽しく就業できるよう、推進してまいります。

役員、会員が一体となつてのご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。





講習会いろいろ



①刈払機取扱講習会



③高齢者向け料理講習会

②安全・適正就業講習会



④剪定講習会

「シルバーの日」ボランティア活動

参加されました皆様ご協力ありがとうございました



④美土里地域 美土里中学校



①吉田地域 可愛地区 可愛小学校



⑤高宮地域 市役所高宮支所



②甲田地域 甲立小学校



⑥向原地域 丸山公園



③八千代地域 市役所八千代支所・B & G

ミニ会報第6号のボランティア活動実施報告のなかで8月3日向原地域ふるさと河原公園環境整備となっていました
 が正しくは丸山公園でした。
 お詫びし訂正いたします。

互助会

(社)安芸高田市シルバー人材センター
 会員互助会 会長 春日信次



謹んで新春のお慶び
 を申し上げます。
 会員互助会の皆さま
 には、ご健勝にて新年
 を迎えられた事と拝察

いたします。
 平素より、安全就業をモットーに「自主・
 自立、共働・共助」の基本理念のもと、日々
 ご活躍されていることは多大な地域貢献で
 あるうかと思えます。
 今日、世界規模の経済の先行き不安、不
 均衡等により、国内不況も長期に及び低迷
 しています。

高齢者を取り巻く「日本の未来」は、人
 口の減少や高齢化の進行によって、年金や
 医療費等の負担増を招き、ますます厳しい
 社会状況になっていきます。老後の三大不安
 は「お金・健康・生き甲斐」と言われてい
 ます。そのためには、外に出て自分を知る
 こと「自分とは何か?」を問いながらの
 「外柔内剛」の柔軟な生き方が大切であるう
 かと思えます。

会員互助会は市内六支部のご支援により
 まして、親睦と交流のためのグラウンドゴ
 ルフ・チャンピオン大会を盛会裡に開催す
 ることが出来ました。関係者各位の協力に
 心より感謝申し上げます。

2011年が新たな希望に満ちた良い年
 でありますよう、皆さまのご健勝を祈念し、
 年頭のご挨拶いたします。

第5回 グラウンドゴルフチャンピオン大会

2010(平成22)年11月6日(土) (社)安芸高田市シルバー人材センター会員互助会



第5回グラウンドゴルフチャンピオン大会成績

団体	個人
1位 吉田A (238打)	1位 河野隆三(吉田) (30打)
2位 向原A (241打)	2位 吉元光幸(向原) (33打)
3位 吉田B (262打)	3位 山田清明(向原) (38打)
	3位 塚前 創(向原) (38打)
	3位 本橋 工(向原) (38打)
	3位 米村達三(吉田) (38打)
	3位 山根賢三(甲田) (38打)

(敬称略)

こんな会員さんは困ります。注意しましょう！

- 場所・時間を考えずタバコを吸う。タバコを吸いながら作業する。
- 作業場所に自分が出したり使ったりした「ゴミ」をそのまま残しておく。
- 作業中大きな声で話しかけたりしている。
- 家の人(お客様)がいるのに黙って挨拶もしない。
- 仕事が終わっているのに、いつまでも時間をつぶしている。
- 時間にルーズで無責任、無断で仕事を休む。
- 前に仕事をした所で、安くするからと個人で仕事を請け負う。
- 同じ仕事をする会員さんと仲良くしようとする。
- 毎月一定の収入をあてに、極端に金銭にこだわり他の会員さんの参加を好まない。
- 就業報告書を期日までに提出しない。



お客様は、みなさんの就業先での就業態度をよく見ておられます。お客様だけでなく、隣近所にも迷惑をかけないよう、礼儀正しく丁寧な挨拶と仕事振りで信頼を得て、再度指名されるよう努めてください。

『シルバー人材センター』の看板を一人ひとりが背負っているという認識をもち、『自主・自立、共働・共助』の原点に立って行動し、就業の拡大と地域社会に貢献しましょう。



里山保全祭りが八千代の土師ダムサイクリングターミナルにおいて開催され、安芸高田市シルバー人材センターは、しめ縄作りをわら細工班5名の会員で指導し、参加者12名が完成させ記念の写真を撮影しました。併せて、門松の作成と正月花の催しも行われ賑やかでした。

会報『シルバー安芸高田』原稿募集

会員のための会報づくりを目指し原稿を募集しています。題材は自由です。仕事・旅行・趣味・体験談など400字詰原稿用紙一枚程度に書いて事務局までお送りください。写真・俳句・川柳なども募集しています。会員皆様のご投稿をお待ちしています。



住所・電話番号・配分金振込先などの変更がありましたら、必ず事務局までお知らせください。重要な書類が届かなかつたり、配分金が振込めませんでした。ご注意ください。

就業報告書は、配分金やお客様への請求額の計算基礎となる重要な書類になります。作業終了後は、本人が必ずボールペンで記入し、間違った場合は、二重線を引き、正しい数字等を記入し取りまとめて、速やかに事務局へ提出して下さい。

編集後記

新しい年を迎えました。うさぎ年の本年度は公益社団法人の組織体制作りという飛翔の年になります。今年も健康管理と安全に気をつけて就業してください。会員皆様のご協力をお願いします。

広報部会

お悔やみ 高宮町 中村 博之様(七月)
謹んで哀悼の意を表します。

配分金支払証明書について

シルバー人材センターで平成22年中に仕事をされた方は配分金の支払証明書を送付しますので、申告時に提出してください。